

2023 年度 札幌大谷大学社会学部地域社会学科
一般選抜 I 期

日本史 B

注意事項

- 1 試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は 8 ページあります。
- 3 試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。

I 次の奈良時代の政治についての文を読み、下の問に答えなさい。

持統天皇を補佐した藤原不比等は、その娘の宮子を文武天皇の夫人とし、701年、①大室律令の制定に参加した。中央の行政組織は、祭祀を担当する（ 1 ）と行政を管轄する（ 2 ）の二官からなり、さらに（ 2 ）のもとには八省が置かれて政務を分担した。行政の運営は公卿による合議制で行われた。公卿は、太政大臣・左大臣・右大臣・大納言などから構成された。

不比等が死去すると、（ 3 ）天皇系の皇親が政権の中核を占め、『日本書紀』撰進の中心となった（ 4 ）が知太政官事、高市皇子の子の長屋王が右大臣に昇進した。長屋王は、723年に三世一身法を施行し、期限付きの土地私有を認めた。

宮子の産んだ首皇子が②聖武天皇として即位すると、不比等の娘の一人である（ 5 ）が聖武天皇夫人となり、藤原氏らによりその立后が画策された。それに対して、非皇族が皇后となることに批判的と目された長屋王が「左道を私に学び」国家を傾けようとした疑いで自殺に追い込まれる。その後、（ 5 ）は皇后となり、不比等の4人の子息が政権の中心となった。

この藤原四子が病死すると、長屋王の弟である鈴鹿王が知太政官事、橘諸兄が大納言から右大臣に、多治比広成が中納言に任ぜられた。この政権の人事に反発して、（ 6 ）の少弐の地位にあった藤原広嗣が、宮廷で要職についた玄昉・吉備真備の排除を要求して乱をおこした。

乱の京内への波及を恐れた聖武天皇は、山背国・近江国・摂津国に設けた宮都を転々とし、5年後に平城京に還都した。聖武天皇は、③仏教によって国家の安定を図るという思想にもとづいた政策を行った。741年に（ 7 ）を出して諸国に国分寺・国分尼寺をつくらせ、④743年には近江の紫香楽宮で（ 8 ）を出した。また、政界では、藤原北家の仲麻呂が台頭して玄昉は筑紫観世音寺に左遷された。

また、聖武天皇は譲位して、娘の阿部内親王が孝謙天皇として即位した。同時に皇后官職を拡大して（ 9 ）を設置して藤原仲麻呂がその長官となり、太政官に属する橘諸兄らに対抗した。757年には、仲麻呂は親族関係にあった大炊王を皇太子とし、対立する（ 10 ）らをとらえて断罪した。そして、大炊王を淳仁天皇として即位させて実権を固めた。

問1 本文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）に最も当てはまる語を、下のア～セの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 大仏造立の詔 イ. 太政官 ウ. 勘解由使 エ. 天武 オ. 乾田
カ. 大宰府 キ. 紫微中台 ク. 神祇官 ケ. 勅使田 コ. 田堵
サ. 橘奈良麻呂 シ. 舎人親王 ス. 国分寺建立の詔 セ. 光明子

問2 下線部①について、このような法律にもとづいて政治を行う国家を何というか、答えなさい。

問3 下線部②について、聖武天皇の遺愛の品々がおさめられた場所を何というか、また、その場所がある寺院の名を何というか、答えなさい。

問4 下線部③について、このように仏教の力で国家の安定を図るという考えを、次の a～d から選び、記号で答えなさい。

a. 蔭位の制 b. 鎮護国家 c. 出挙 d. 国府

問5 下線部④について、同年に出され、開墾した田地の私有を永年にわたって保証した。法律を何というか、答えなさい。

Ⅱ 下の略年表を見て、下の問に答えなさい。

年代	主なできごと
1192	① 源頼朝、征夷大將軍となる
1205	② 新古今和歌集
1221	③ 承久の乱：3上皇配流
1224	④ 親鸞、『教行信証』を著す
1232	⑤ 御成敗式目制定
1274	⑥ 文永の役：元軍、九州に来襲
1321	⑦ 院政廃止、後醍醐天皇親政
1338	⑧ 足利尊氏、征夷大將軍となる
1392	⑨ 南北朝の合一
1439	⑩ 上杉憲実、足利学校を再興
1467	⑪ 応仁の乱始まる

問1 年表の①について、將軍の家来である武士のことを何というか、答えなさい。

問2 年表の②について、この時代に、琵琶法師によって語られた軍記物語を何というか、答えなさい。

問3 年表の③について、この乱の後、新たに置かれた、朝廷の監視や西国の統轄にあたった機関を何というか、答えなさい。

問4 年表の④について、親鸞が、阿弥陀仏を信じ自分の罪を自覚した悪人こそが救われる、と説いて開いた宗派を何というか、答えなさい。

問5 年表の⑤について、この法典を制定した人物を、次の a～d から選び、記号で答えなさい。

a.北条時頼 b.北条時政 c.北条義時 d.北条泰時

問6 年表の⑥について、1281年に元が再び九州北部に攻めよせたが、暴風雨に襲われ退いた戦いを何というか。また、この2度にわたる元軍の襲来を何というか、答えなさい。

問7 年表の⑦について、後醍醐天皇は年号を改め、天皇を中心とした新しい政治をめざした。この政治を何というか、答えなさい。

問8 年表の⑧について、足利尊氏が京都で幕府を開き約240年間続いた。その幕府を何というか、答えなさい。

問9 年表の⑨について、南北朝の合体が実現した時の将軍を、次のa～dから選び、記号で答えなさい。

a.足利義満 b.足利義政 c.足利義教 d.足利尊氏

問10 年表の⑩について、上杉氏が室町幕府において代々世襲していた鎌倉公方の補佐役を何というか、答えなさい。

問11 年表の⑪について、この頃、銀閣の下層や東求堂同仁齋にみられる、近代の日本住宅のもととなった建築様式を、漢字3文字で答えなさい。

Ⅲ 次の文を読んで、下の問に答えなさい。

身分秩序を基盤に成り立っていた江戸時代の社会は、苗字・帯刀・切捨御免などの特権を持つ武士を支配身分として、その下に農業を中心に林業・漁業に従事する百姓、手工業者である職人、商業を営む商人がいた。①農村は幕藩体制を支える土台であり、自作農である本百姓を中心に運営された。その中のリーダーは名主、組頭、百姓代と呼ばれた。本百姓の下には小作である水呑百姓や隷属民である名子・被官がいたが、(1) に登録されず、寄合への参加も許されなかった。村の運営は村掟に基づいて行われ、これに背くと村八分の制裁が加えられた。

本百姓の負担は原則として米で収める年貢が中心で、村でまとめておさめる村請という仕組みを取っていた。この他にも小物成、国役、助郷役、②高掛物などの負担が課されたため、零細な百姓にとっては大きな負担となった。本百姓は(2) に編成され、年貢の納入や犯罪の防止に連帯責任を負わされた。(2) は、結やもやいと呼ばれる共同労働の単位でもあった。

農業は、狭い耕地に集中的に人力を投下して行う小規模な経営だったため、農具もそれに応じて発達した。深耕用の備中鍬、脱穀用の千歯扱、選別用の(3) や千石筵、灌漑用の踏車などが考案された。肥料も刈敷や下肥といった自分たちで作ることが出来たものに加え、干鰯・油粕・麦粕などの(4) が普及した。

江戸時代における商品流通の発展は、貨幣制度の整備に支えられていた。幕府は貨幣の鑄造権を独占し、③金銀銅を貨幣として流通させることで、安定した政権の基盤を築くことができた。産業の発達に伴い、17世紀の中ごろまでには三都が全国的な流通拠点に発展した。三都の一つ大阪では、諸藩が置いた(5) において、領内の年貢や特産物である蔵物を蔵元、掛屋と呼ばれる商人が販売した。これに対して(5) を通さずに民間の商人の手を経て流通した商品を(6) と呼んだ。17世紀後半になると、各地の間屋が商業や流通の中心を占めるようになり、大阪では堂島の米市、雑喉場の魚市、天満の青物市、江戸では日本橋の魚市、神田の青物市といった間屋が集積する市場が形成された。④間屋は業種ごとに仲間をつくり、営業権の独占をはかった。

問1 本文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）に最も当てはまる語を、下のア～ソの語群から選び、記号で答えなさい。

ア. 五人組 イ. 囲米 ウ. 検地帳 エ. 金肥 オ. 蔵屋敷
カ. 場所 キ. 棒手振 ク. 農書 ケ. 草木灰 コ. 銭座
サ. 高機 シ. 唐箕 ス. 納屋物 セ. 両替商 ソ. 唐竿

問2 下線部①について、本百姓の経営を安定させ、年貢や諸役の徴収を確実にするため1643年に幕府が出した法令を何というか、また、その時の将軍は誰か答えなさい。

問3 下線部②について、高掛物の説明として正しいものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 田畑にかけた。
- イ. 山野河海からの収益にかけた。
- ウ. 村高に応じて付加した。
- エ. 一国単位でかけられる夫役労働である。

問4 下線部③について、三都や城下町で貨幣の流通を促進させた金融機関を何というか、漢字3文字で答えなさい。

問5 下線部④について、幕府は（ ア ）・（ イ ）の営業税を負担させることで商人の仲間を公認したが、（ ア ）・（ イ ）に当てはまる語句をそれぞれ漢字で書きなさい。また、1772年に老中となり（ ア ）・（ イ ）の増収を目指した人名を答えなさい。

Ⅳ 次の文を読んで、下の問に答えなさい。

富国強兵を目指した明治政府は、近代化を進めるために率先して西洋文明を取り入れた。国民生活においても、文明開化と呼ばれる新しい風潮が広がり、ざんぎり頭が文明開化の象徴とみられた。

①宗教に関しては、王政復古の立場から、神道国教化の方針が示された。1868年に(1)が出され、神道の国教化が表明されると、廃仏毀釈という仏教弾圧の風潮が高まった。1870年に大教宣布の詔が出され、神社制度の導入や、2月11日の紀元節などの祝祭日規定がなされた。神道国教化の試みは真宗門徒などの反対運動によって鎮静化に向かったものの、政府の公認を受けた教派神道が庶民の間に浸透していった。キリスト教に関しては、明治当初は禁教政策(五榜の掲示)がとられていたが、1868年に起こった浦上信徒弾圧事件に対する列強の抗議を受け、1873年には(2)の高札が撤廃された。

②教育の面では、1872年にフランスの学校制度にならって学制が頒布された。これに対して、負担が増大することを嫌った多くの農民らによって一揆が起こった。学制の計画は画一的であまりに国民生活とかけ離れていたため、1879年には(3)が公布された。更にその翌年の改正を経て、小学校教育に対する政府の監督責任が次第に強調されていった。1886年には文部大臣の(A)の下で学校令が公布され、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などからなる学校体系が整備された。小学校では、尋常科4年が義務教育とされた。1890年に発布された(4)では、国家主義的な教育の指導原理が強調された。

1870年代には、海外から多くの新しい思想が入ってきた。③個人の自由を重視するフランスの自由主義は後の自由党に影響を与え、功利を善とするイギリスの功利主義は後の立憲改進黨に影響を与えた。万人には生まれながらに人間としての権利が備わっているという天賦人権が唱えられ、(B)の『西洋事情』、『学問のすゝめ』や、(C)が翻訳した『西国立志編』などが新思想の啓蒙に大きな役割を果たした。こうした欧化主義の風潮に対して、国権論を唱える思想家が現れ始め、高山樗牛らは雑誌『(5)』で日本主義を唱えた。

問1 本文中の空欄（ 1 ）～（ 5 ）に最も当てはまる語を、下のア～コの語群から
選び、記号で答えなさい。

- ア. 太陽 イ. 教育令 ウ. 大教宣布 エ. 三新法 オ. 切支丹禁制
カ. 教育勅語 キ. 万国公法履行 ク. 神仏分離令 ケ. 大日本帝国憲法
コ. 国民之友

問2 （ A ）～（ C ）に当てはまる人名を答えなさい。

問3 下線部①について、日本古来の純粋な信仰を尊ぶ復古神道を唱えた江戸後期の国学
者名を答えなさい。

問4 下線部②について、学制について述べた文として誤っているものを、次のア～エから
一つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 四民平等を原則とした。
イ. 教育の国家管理を明確にした。
ウ. 授業料を無償化した。
エ. 欧米を模倣した教科書を用いた。

問5 下線部③について、自由党と立憲改進黨の党首名を答えなさい。